

## タイ洪水被災者支援 e ラーニング教材「すらら」を無料提供 ～臨時休校中の家庭内学習に～

株式会社すららネット（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：湯野川孝彦）では、タイ洪水被災者支援の一環として、英語・数学・国語をインターネット上で学べる e ラーニング教材「すらら」(※) を、現在タイに残留、もしくは他国へ避難していらっしゃるタイ在住の小学 5 年生から高校 3 年生までのご希望の方を対象に無料で 2011 年 11 月 30 日まで提供します。

本件は、タイ洪水の影響で臨時休校となり十分な学習が不可能な生徒達の家庭内学習を支援することを目的に、英語・数学・国語をインターネット上で学べる e ラーニング教材「すらら」を無料で提供します。

お申込みは「すらら」HP 内専用サイト（URL：[http://surala.jp/supporter\\_bkk/](http://surala.jp/supporter_bkk/)）から受講エントリーページにアクセスいただき、必要事項を送信後、届いたメールに従ってお申し込みの手続きを進めていただくと、ご利用に必要な ID とパスワードが取得できます。

今回のタイ洪水被災者支援は、「すらら」の導入校である如水館中学校・高等学校を運営する学校法人山中学園（所在地：広島県三原市）がタイで運営する如水館バンコクインターナショナルスクール（所在地：バンコク都内ミズブリー）にも、ご協力いただいています。

すららネットでは、東日本大震災の被災地支援の一環として、今年の 4 月から 8 月末まで岩手県・宮城県・福島県・茨城県の被災地、および、その周辺地域において、休講その他の状況で十分な学習が不可能な生徒達を対象に「すらら」の無料提供を実施していました。

この被災地支援は震災や放射能の懸念で学習が困難な方々にご活用いただき、実際、今年の 7 月 1 日～8 月 31 日に実施していた「総学習時間」や「クリアユニット数」といった、“どれだけ努力したか”を競う大会「すららカップ」の学習時間部門において、全国 1 位となったのは、福島県郡山市在住の被災地支援登録のユーザーでした。

そこで今回、教育に携わる企業として、東日本大震災の被災地支援に続き、タイ洪水の被災者の方々にも「すらら」を無料で提供することにより、洪水の影響で学力や受験に不安を抱える方の方になりたいと考えております。

※「すらら」とは

物語性のあるアニメーションを用いたレクチャーによる“理解促進”と、豊富な問題数による反復学習機能で“定着”させる e ラーニング教材です。 中学から高校までの学習指導要領に準拠しており、全国の学校法人や学習塾で採用され、現在 19,000 名以上の生徒が受講中です。

# NEWS RELEASE

## 【概要】

- ◆実施期間：2011年11月1日（火）～11月30日（水）
- ◆科目：英語・数学・国語
- ◆範囲：小学5年～高3の履修範囲
- ◆無料提供対象
  - ・インターネット環境にあるパソコン（OS:Windows XP/vista/7）をご利用で、現在タイに残留、もしくは、他国へ避難していらっしゃるタイ在住の小学5年生から高校3年生までのURL：  
[http://surala.jp/supporter\\_bkk/](http://surala.jp/supporter_bkk/)よりお申込みいただいた方

## ■eラーニング教材「すらら」とは

【学習範囲】 中学から高校までの学習指導要領に準拠

【対応教科】 英語・数学・国語

### 【特徴】

○Point 1 「弱点自動判別システム」搭載

分からない理由が明確になれば、あとはその弱点を克服するのみ。克服のためのドリルも出題。

○Point 2 理解度に応じてカスタマイズされた問題を出題

勉強がいやになる理由のひとつは、「難しすぎる」あるいは「簡単すぎる」問題に取り組まなければならないということ。「すらら」は理解度に合わせてカスタマイズすることで、「簡単すぎず難しすぎない」問題が出題されるため、学力レベルに関係なく、すべてのお子様が、達成感を感じ自信を深めながら、学習を進めていくことが可能。

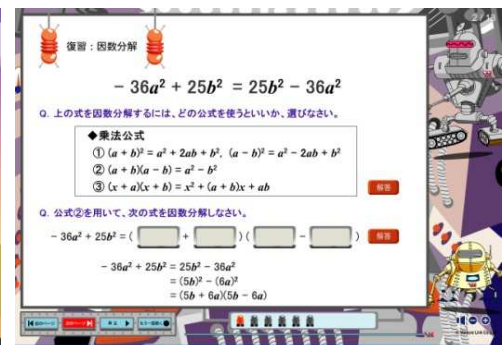
○Point 3 「理解」と「定着」を一体化

「すらら」はスモールステップで「根本理解」を促すアニメーションによるレクチャー（授業）と、理解したことを「定着」させるためのドリルが一体化。これによって、「わかる」喜びと「解ける」楽しさを同時に味わいながら、お子様は学習を進めることが可能。

＜参考＞これまでのeラーニング教材の大半は以下の3パターン

1. 動画配信型：カリスマ講師のレクチャービデオを視聴するタイプ  
「理解」にはすぐれているが「反復」の部分がないためやりっぱなしになってしまい、実力が身につかない傾向がある。また、一方的な説明となるため、比較的意識の高いお子様でないと、集中力が続かない。
2. 問題集型：問題集の結果をパソコンに打ち出して結果分析をするタイプ  
「定着」にすぐれているが「理解」の部分がないため、学力の高い生徒でないと一人で学習を進めることが困難な傾向がある。
3. ゲーム型：携帯用ゲーム機などを使って学習するタイプ  
非常に楽しく学習できるが、単語など反復による暗記系が中心で、体系的な学習には不向き。

「すらら」はこうしたそれぞれの短所を補い、長所を相乗効果的に組合せた、理想の"次世代型教育システム"です。



## ■ 株式会社すららネット 会社概要

- 設立：2008年8月 ○資本金：6,285万円 ○所在地：東京都千代田区内神田
- 事業内容：eラーニングによる教育サービスの提供および運用コンサルティング、マーケティングプロモーション及びホームページの運営
- 会社URL：<http://surala.jp/>